



hida

広 報

ひだ

町 木



第91号

肥田町
まちおこし
推進協議会

謹賀新年

自治会長 西田幹雄

新年あけましておめでとーうござい
ます。

町民の皆様には、ご家族お揃いで輝
かしい新年をお迎えのこととお喜び申
しあげます。平素は、自治会活動に対
し深いご理解とご支援を賜り誠にあり
がたく厚くお礼申し上げます。また、
自治会役員、各種団体役員、組長、ボ
ランティアサークルの皆様方には、特
にご協力をいただきましたこと、お礼
申し上げます。

さて、昨年は、様々な変化の年であつ
たような気がいたします。平成から令
和へと元号が変わり、天皇陛下の即位
に伴う様々な儀式がありました。経済
面では、消費税が10%に引き上げられ
ました。また、東日本では台風や大雨
による甚大な災害が次々に起こりまし
た。特に、台風や大雨によって多くの
方々が被害に遭われ、今も復興のため
頑張っておられます。幸いにも私たち
の地域では、台風などによる大きな被
害もなく過ぎることができました。し
かし、今後のことは予想ができません。
もしかしたら、異常気象による災害が
私たちの地域でも起こるかもしれませ

ん。そのためには、地域ぐるみの防災に
ついて、私たちみんなが常日頃から考え
ていかなければならないと思います。

大正、昭和、平成、令和と時代は続い
てきました。肥田町には、大正生まれの
方が数名おられます。悲慘な戦争にあわ
れて、つらい経験を乗り越えて、戦後の
復興にご尽力いただきました。私自身は
戦後生まれのため戦争というものを身
近に感じることなく暮らしてきました。
これは大変幸せなことです。戦後から平
成にかけて、阪神淡路大震災や東日本大
震災、異常気象による多くの災害が起こ
りましたが、私たちの地域ではありがた
いことに甚大な被害がなく過ぎること
ができています。元号も令和に代わり、
令和時代が穏やかで幸せな時代となり
ますよう、願わずにはいられません。
最後になりましたが、本年が皆様方に
とって、また肥田町にとって良き年であ
りますよう祈念申し上げますとともに、
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上
げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



ご長寿お祝い

〜末永くお元気で〜

卒寿 (昭和六年生まれ)

薩摩肇さん

松村綾子さん

高瀬俊英さん

藤野育枝さん

藤野泰弘さん

米寿 (昭和八年生まれ)

伊関徹男さん

藤野良枝さん

青木徳男さん

鹿島義雄さん

傘寿 (昭和十六年生まれ)

薩摩正平さん

大村肇さん

元持光子さん

藤野ナヲミさん

本持きぬ江さん

鹿島弘一さん

伊関美代子さん

松山滋さん

喜寿 (昭和十九年生まれ)

大家勝治さん

藤野敏子さん

岩尾八重子さん

古希 (昭和二十六年生まれ)

矢守貫一さん

小室久栄さん

宮川光子さん

藤野艶子さん

西田操さん

還暦 (昭和二十五年生まれ)

松村英子さん

瀧幸子さん

藤野紀子さん

元持美砂緒さん

伊関新一さん

鶴野勝彦さん



謹賀新年

農事改良組合長 青木祐樹

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと存じます。旧年中は、農事改良組合活動に「協力」を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在5年に一度の国の統計調査「農林業センサス」を委託され、皆様を訪問させていただいています。第一段階として、調査票の記入が必要かどうかを見極めるため、組合員の方への「聞き取り調査」にお伺いします。

次に、調査票の提出が必要な方に、調査票の記入と提出をお願いいたします。お忙しいと思いますが、ご協力の程よろしく願います。

また、追ってご案内させていただきますが、2月2日の選挙総会後に、「土地改良法改正に伴う組合員資格の確認と手続き」について、愛西土地改良区から説明をしていただきます。

これは、土地改良法が改正されたことに伴い、毎年3月から4月にかけて実施している「組合員名簿兼土地原簿」の記載方法が変わることによるものです。昨年までは変更が無ければ確認だけで済んでいたものが、記載内容の見直しにより変更が生じる可能性があります。正しく申告いただきたいと思います。新年早々、堅苦しい話になりました

が、本年も改良組合へのご指導・ご鞭撻の程よろしく願ひ申し上げます。

改良組合の大役もあと3カ月となりました。十分な活動でなかったかもしれませんが、皆様よりご指導いただき、ここまで遂行することができましたことをお礼申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって良き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

農事組合法人ファーム肥田

代表理事 成宮一郎

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては「ご家族お揃いで、令和初めての輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃はファーム肥田に対し、ご支援とご協力を賜り有り難うございます。

さて、昨年の水稻の収穫は、「みずかがみ」が前年並み、「コシヒカリ」は台風の影響を受けて倒伏して減収、「キヌヒカリ」は前年並み、「日本晴」は大きく減収となりました。他所においても中晩成種は悪かった模様です。滋賀県の水稲の作況指数は98となり減収でしたが、買取価格が上昇した結果、利益は確保することが出来ました。今後は高齢化を迎え、穂肥の散布が不要で高く販売できる「みずかがみ」を中心

に作付けを増やし、収益の確保に努めていきたいと思ひます。小麦は11月上旬に播種できたせいか、反収三七五㌔と地域の基準反収三一四㌔より多く収穫できました。

農業を取り巻く環境は、環太平洋連携協定(TPP)や欧州連合(EU)との経済連携協定(EPA)が相次いで発効することから、農産物の輸入枠が拡大し、さらに消費税増税と一次産業や地方経済の構造疲労による衰退等により、厳しい年と覚悟しなければなりません。少子高齢化が進む中、先進地の視察に参加させていただいた優良な農業法人は、今までの米・麦・大豆を生産する農業から、女性活躍の時代を迎え自らが生産した農産物の加工販売の取り組みがされています。なかなか難しい問題ですが肥田町においても今後研修を深め取り組んでいければと思います。

農業は単に食糧の問題というだけでなく、空気や水、土地の問題であり、環境の問題です。担い手不足といいますが、肥田町には多様な人材がおられます。今後はその方々の知恵や声を生かして発展させて行く必要があると思ひます。また農業に関心のある若者を町内外から求め、多様な人材を経営に取り入れ育成し、農業を業とする若者を農村に取り入れていくことが重要であると思ひます。

農業農村を次世代に引き継いでいくことが求められる中、ファーム肥田は肥田町のまちづくりの中心的存在として今後に期待されていることもあり、皆様

のご理解とご協力を得ながら進めていく所存です。

最後になりましたが、本年が町民皆様にとりまして良き年でありますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

末永く元気で、共に支え合う町

福祉部長 辻野 賢治

去る10月27日、30名を超える方々に参加いただき、敬老会を開催しました。

当日は、彦根市在住の『ひふたば』というサークルによる手品やクイズなどの催し、会食、ビンゴゲームを行いました。ひとときの楽しい時間を過ごしていただく中で、肥田町の発展に貢献していただいた方々に、少しでも感謝の気持ちを表せたのではないかと思っています。

今年度、肥田町にも『命のバトン』を配布しました。急激に進む少子高齢化と地域コミュニティの希薄化が心配される今日、地域の安心や安全のために多くの地域で導入され始めている事業です。『バトン』で万が一の時に備えていただくと同時に、それを通じて隣近所や地域のみなさんに繋がってもらうことが大事だと思っています。

『敬老会』や『命のバトン』などを通して、『みんなで見守り、支え合う』という安心のまちづくりに努めていきたいと思ひます。

成人式 おめでとう。

ますますの活躍を！

公職選挙法や民法などで成人年齢の引き下げが行われました。(施行期日未到来の法律もあります。)今後の成人式の取り扱いはまだ未定ですが、今年の成人式は従来どおり行われます。

藤野慎也さん



さて、成人を迎えた私の抱負として、これ

からの人生、何事にも躊躇せず挑戦していきたいと考えております。その中で様々な人との出会いがあることで、自分と考えの違う人もたくさんいるはず。その人達の意見に、聞く耳を持ち、尊重しながらも、自分の考えを主張できる。しかし、自分の非に気付けば素直に認められる柔軟さも持ち合わせた、そのような大人になりたいと思っています。

肥田町で過ごし経験したことを糧に、周囲に流されない確固たる自分を持つて、挑戦し続けていこうと思います。

藤野晴太さん



新年明けましておめでとうござい
ます。

無事に成人を迎えられたのも今まで大事に育ててくれた家族や地域の皆様方の支えがあつてからこそだと思います。ありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れず地域に少しでも貢献できればと思います。これからは成人として責任と自覚を持つて行動し、色々なことに挑戦して沢山の経験を積んで自分を更に磨き上げていきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

前田尚人さん



新年明けましておめでと
うござい
ます。

無事に成人の日を迎えられたのは家族、そして肥田町の皆様のおかげです。ありがとうございます。

社会人としての責任ある行動と、今ま

でお世話になった人への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できるような大人になりたいと思ひますので今後ともよろしくお願ひします。

岩尾陽さん



この度は無事成人さ
せてい
ただき
ありが

うございます。ここまで育ててくれた祖父、祖母、父に感謝します。本当にありがとうございます。まだまだ家のお世話になるかと思ひますがどうぞ宜しくお願いします。

新成人になつてからの抱負は、今の仕事を敢えず一生懸命頑張ることです。転職前の仕事は丁度一年経つた頃に諸事情で辞めてしまつていたので、今、就いてる仕事は辞めずに長く頑張ろうと思ひます。それともうひとつは、家の事を少しずつですが積極的にやろうと思ひます。そろそろ祖母からも料理を教えて貰ひながら、家の手伝ひをしたいなと考へています。

成宮亮太さん



新年明けましておめで
うござい
ます。

今年、成人式を迎え二十歳となり人生の大きな節目の歳となりました。こうして成人の日を迎えることができたのも家族や友人そして地域の方々に支えていただいたお陰だと思ひ、深く感謝しています。まだまだ一人の人間として未熟なところが多いですが自分自身の行動に今まで以上に責任感を強く持ち行動していきたいと思ひます。そして、支えてくださった方々に恩返しが出来るように努力を重ねて日々精進していきたいと思ひます。

新成人へ贈る言葉

幕末の偉人、吉田松陰

足下誠に才あり、才あれども勤めずんば、何を以て才を成さんや。今、歳將に除せんとす、学弛むべからず、一日を弛めば、將に大機を失せんとす。

(訳) お前は本当に才能がある。才能はあるけれども日々努力をしなければ、どうして才能が開花させ、自分のものできようか。ではしない。

ふるさと歴史探訪記 7

高瀬 俊英

室町時代後半は、日本全国、武力でもって優劣を決める動乱の時代でした。特に、城があったり武士がたむろする地域は戦乱に明け暮れていました。「肥田」もそうでした。(先号までを参照)

信長

戦国の争乱を終わらせ、全国統一の端を開いたのは信長でした。彼は、畿内地方に残存する室町幕府の守護の権力と、それと結ぶ寺社の古い勢力抑え(粉碎し)、地方に割拠する戦国大名を征服し、農民を統制し、都市と商業を支配下に入れる最中、京都の本能寺で倒されました。

秀吉

跡を継いだのが秀吉で、検地と刀狩りの実施で兵農分離を進め、武士階級をして農民、町人を支配する統一支配を完成させました。自己の偉業を誇示するために、天守のある豪華雄大な城を造り、工芸品や障壁画は豪華絢爛を極めました。(高野瀬氏の後、肥田へ来た蜂屋氏、長谷川氏もこの系統の武将ですし、肥田でも天守のある城が造られたのではないかと考えます。)

家康

秀吉の死(一五九八年)後、家臣間の分裂を利用して一挙に支配を確立しようとしたのが家康で、一六〇〇年の関ヶ原の戦いで豊臣方を敗り、一六〇二年に征夷大將軍となって江戸幕府を開きました。二代將軍家光のとき、幕府の基礎は整い、強固な封建支配体制が完成しました。

彦根藩に組み入れられた肥田

駿河の国井伊谷出身の井伊家は、松平家(後の徳川家)を支える有力な家臣でした。井伊氏は、関ヶ原の戦い以後、近江の伊香から近江八幡の西、仁保川付近まで領有し、彦根には幕府普請の彦根城と城下町が造られました。肥田からも旧肥田城の全てと武士や商人手工業者らが城下町に集められ、肥田には、農民となった働き手が残りました。

彦根藩は、北筋、中筋、南筋の区域に分けられ、肥田は南筋区域、南筋奉行(宇曾川付近から南の地域を管轄)の支配下に入るようになりました。

課題のお願い

安土(信長)、桃山(秀吉)、江戸(家康)時代、肥田で造られ、今も残っている建物や品物を挙げてみてください。見つかればお知らせいただきたいと思えます。



(注) 右図は崇徳寺に保管されている江戸時代の知行図の一部で、伊香、浅井から愛知、神崎までの群絵図のうち南筋奉行の区域を示したものです。宇曾川以南の地域が示されています。他に北筋区域を示すもの、中筋区域を示すものがあり、三枚で構成されています。関心のある方は崇徳寺まで

編集後記

(森田喜久雄)

明けましておめでとうございます。新年号初の新年を迎えました。お元気で新年の迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年も災害の大変多い年でした。佐賀県や関東東北地方での豪雨災害は、まさに異常というべきもので、近年の地球温暖化によるものとも言われています。この肥田町、幸いにも災害から離れていますが、いつ我が身のものともわかりません。怠りないようにしたいものです。

先日の町内での失火事故、大火を未然に防いだということで、廣田さんご夫妻と本持真弥さんが彦根市消防本部から感謝状をお受けになりました。自治会からもお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。

また、世界がこんなに揺れに揺れた年も珍しいでしょう。米中の貿易摩擦や北朝鮮、韓国問題、中東諸国での様々な軋轢やイギリスのEU離脱問題など、課題に枚挙がありません。

開けて新年、今年はどうなるのでしょうか。いや、どんな年にするのでしょうか。十干十二支によると、「変化が生まれ、新たな生命がきざし始める」吉兆の年で、全く新しいことにチャレンジするのに適した年だそうです。肥田町の皆様に多くの幸運が訪れますように、お祈り申し上げます。